

令和4年度第三者評価 改善状況報告書

令和 5 年 3 月 31 日

施設名	芝浦アイランドこども園	施設所管課	芝浦港南地区総合支所 管理課
所在地	港区芝浦4-20-1	指定管理者	公益財団法人 東京YMCA

改善すべき指摘内容等	対応事業者 (共同事業者の場合記入)	令和5年3月までの改善状況等 (指定管理者記入欄)	令和5年4月以降の取組予定 (指定管理者記入欄)	所管課確認欄 (施設所管課記入欄)
こども園として、高度な教育保育を行うための人材の充実に向けた、更なる取り組みに期待したい。		個人面談を行い保育者・調理・保育補助の方の、今後の人生計画や園からの期待などを話し合った。	厳しい労働条件下であるので、保育者としてのやりがいがないと続けていくことは難しいと考える。職員数に余裕が出来れば、さらに充実した保育が望める。パート職員から資格を取って正職員になる等、保育という仕事の面白さを広めていきたい。	高度な教育保育を実現するためには、職員数に一定の余裕があることはもちろん、職員一人ひとりのやりがいを見出す必要があります。そのため、面談等で職員の要望を聞き、その要望に可能な限り応えることで、保育という仕事の面白さを感じていただけるように指定管理者と協力していきます。
併設されている児童高齢者交流プラザの児童館や学童クラブと連携を進め、意図的に計画的に施設間の交流を図る企画を検討してはどうか。	児童高齢者交流プラザ	併設されている児童高齢者交流プラザの児童館の一般利用が、コロナウイルスの影響で減ってきていることで、こども園とのコラボプログラムを計画する話し合いを持った。	令和5年6月にこども園の園庭を使ったお砂場遊びのプログラムを行う。	令和4年度も新型コロナウイルス感染症の影響により、他の施設との交流が本格的に実施できない状況が続きました。令和5年度からは、新型コロナウイルス感染症も5類に移行し、接触機会も増えていくと予想されるため、まずは芝浦地域との交流を図るように指定管理者と連携して取り組みます。
クラス毎に立案した指導計画を開示しているが、個別指導計画の目標を個々に伝え、保護者と共に育てる取り組みにも期待したい。		家庭と園が協力して子どもの育ちを支えていく為に、保護者の意向や家庭での姿を聞くために、1月、2月に個人面談を行った。	希望者にしてしまうと申し込まない保護者もいる為、家庭とは年に最低でも1回は個人面談を行うことで一人ひとりの成長を見守っていく。目標を達成基準と捉えてしまう保護者が多いので、それは子どもたちに取って大きな負担となる恐れがあるため、個人別保育計画の開示については慎重に扱うべき内容と認識している。	園と保護者が互いに協力して子どもを育てていくことは、今後の子どもの成長にも良い方向に繋がります。そのため、園での取組が子どもの成長を後押しする内容になるように指導していきます。